

ねぎぼうず館 シルク伝道企画共催事業

シルク寺小屋塾生募集

Silk はどれだけ人間に尽くしてきたでしょうか。

桑園で育った蚕は、自ら吐いた糸で子孫を残すためシェルターとして繭を作り上げます。その繭の糸を人間はさまざまな分野で活用してきました。

「衣料」「寝具」「建築材料」「和楽器」「食料」「調度品」「医療」「化粧品」・・・。

はたまた「健康食品」にまで発展しています。その文化は古く、蚕の歴史は聖徳太子の時代から大切にされてきました。私たちは絹の美しさと恩恵を受け、「絹文化」を育んできたのです。

しかし、現代では日本の養蚕業は衰退し、群馬県・富岡製糸場に象徴された隆盛も過去のものとなりつつありますし、SILK 文化への理解は徐々に低下しています。

一方、日本政府は日本国産の「絹」へのサポートを打ち切り、外国からの安価な絹を奨励する予定でいます。だからこそ今、絹の価値を見つめ直し、未来へ伝えていくことが大切です。絹にかかわった方たちの知識と知恵と自薦の中で、絹伝道師の資格を取得する寺小屋を開催いたします。ふるってご参加くださいませ。

受講日程と内容

第1回：4月26日(日)13時～

○シルク伝道師と絹（総論）寺小屋塾に向けて 会長：中谷比佐子（きもの文化作家）

○富岡製糸場と現在絹の生かし方 寺小屋副会長：上原孝子（手仕事や主宰）

今後の塾講座予定 月一回（実地研修、招聘講師 資料含む）

○内容 オンライン授業可

○当面の授業内容（上期）

4月 蚕の実像（シルク伝道師協会）

5月 下仁田養蚕の現状の発表

6月 蚕と糸の話 碓井製糸の社長または常務の話

7月 蚕飼育の住居と環境について 白川郷の有志から

※予定は都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

お申し込み

入会金：10,000円

受講料：月1回/年12回（予定）※3,000円×12回=36,000円

単発参加の場合：5000円

なお、8月は一泊二日にて「伝道師資格取得特別集中講座」をねぎぼうず館にて開催します。中谷比佐子と伝道師資格者の皆様の授業と実地などを受けていただき、受講生にはシルク伝道師の資格が授与されます。詳細は日本子守唄事務局にお問い合わせください。資料をお送りいたします。

お問い合わせ

NPO 法人日本子守唄協会

〒125-0054 東京都葛飾区高砂3丁目13-13 三浦ビル1階

TEL：03-6458-0283 FAX：03-6458-0284

MAIL：info@komoriuta.jp

群馬県下仁田町ねぎぼうず館

場所：旧西牧小学校

住所：下仁田町大字西牧461-1